

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭

ながさきピース文化祭2025

実施計画（案）

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭
長崎県実行委員会

目 次

1	正式名称	1
2	統一名称	1
3	キャッチフレーズ	1
4	基本方針	1
5	会期	2
6	主催者	2
7	シンボルマーク（国民文化祭）	3
8	ロゴマーク	3
9	公式ポスター	3
10	事業構成	4
11	事業別計画	4
	（1）県実行委員会及び県主催事業	4
	① 開会式、閉会式	4
	② コア事業	5
	③ 地域文化発信事業	6
	④ 障害者交流事業	7
	（2）市町実行委員会及び文化団体主催事業	8
	① 地域文化発信事業	
	② 分野別交流事業	
	③ 文化団体主催事業	
	（3）その他事業	22
	① 協賛事業	22
	② 応援事業	22
12	広報・PR計画	23
13	受入体制	24

1 正式名称

第40回国民文化祭
第25回全国障害者芸術・文化祭

2 統一名称

ながさきピース文化祭 2025

3 キャッチフレーズ

文化をみんなに

文化は一定の人だけのものではなく、みんなのもの！みんなで楽しめるもの！
文化には人と人をつなげる力があるという思いを込めています。

4 基本方針

① 歴史を紐解き、未来へつなぐ海外交流

魏志倭人伝に記された壱岐・対馬や遣唐使の日本最後の寄港地である五島、大航海時代以降、西洋の音楽や美術、医学をはじめ、近代産業等の日本伝来の窓口であった長崎など、本県には海外との長い交流の歴史があります。これまでの国際交流の取組は本県の強みであり、文化芸術を通して県民の海外との交流を活発化させ、未来へと交流をつなげていきます。

② 文化芸術によるまちづくり

文化を媒体に、誇りを持ってまちの人が暮らしている、その姿を見て人が入ってくる、という好循環を創り出していくことを目指します。地域に根付いている伝統芸能や祭り、埋もれている文化の掘り起こし、新たな地域文化活動に取り組むことにより、暮らしたくなるまちづくりにつなげていく契機とします。

③ 文化資源を活かした観光の推進

豊かな自然や歴史の中で培われてきた本県ならではの特別な体験ができるプログラムを提供します。長崎検番や神楽、浮立など地域に伝わる伝統芸能や地域で異な

る歴史や食などの文化資源を活かし、県民一人ひとりがおもてなしの心で、地域の魅力を発信し、国内や海外からの誘客につなげていきます。

④ 若者や子ども達が創り出す新しい文化とながさきの未来

県民が主体的に地域文化に取り組むことにより、地域で守り育ててきた文化の大切さを一人ひとりが再認識し、次世代へつなげる契機とします。次代を担う若者や子ども達が主体的に関わることで長崎の良さに気づき、ふるさとへの誇りや愛着を醸成し、「ながさき愛」を高めるとともに、新しい文化を生み出すエネルギーとしていきます。

⑤ 文化芸術を通した平和の継承

本県にはこれまでも多様なものを受け入れてきた寛容性があります。文化や国籍、価値観の違う人たちと交流し、お互いの理解を深め、多様性を尊重することが、人の心を豊かにします。県民が平和を身近なものとして捉え、文化芸術を通してその思いを表現し、行動することで、平和への願いを継承していきます。

⑥ 心のバリアフリーの推進

文化芸術活動を通して、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、互いに個性を発揮し、認め合い、共に楽しむことにより、社会を構成する一員であることを再認識し、相互の理解をより一層深める契機とします。

5 会期

令和7年（2025）年9月14日（日）～11月30日（日） 78日間

6 主催者

文化庁、厚生労働省、長崎県、県内市町、長崎県実行委員会、市町実行委員会、文化関係団体、障害者関係団体等

7 シンボルマーク（国民文化祭）



文化は人間の知恵であり、秩序ある生活との統合であります。限りなく広がる文化へのあこがれを、歓喜の人形（かた）の構成でイメージしたデザインです。日本古来の古代紫を基調に、明るさを加えて、新しい日本の未来色のイメージにした色彩計画です。

福田繁雄（グラフィック・デザイナー）

8 ロゴマーク



平和の象徴「鳩」と、文化を育み、未来へ繋ぐ「手」がモチーフです。

ブルーは海外との文化の懸け橋となった「長崎県の海」をイメージしています。

「ピース」に込められた平和の願い、文化芸術を通じて生まれるハッピーな交流、そして、手を差し伸べてお互いが助け合う思いやりを表現しています。

9 公式ポスター



ロゴマークを中央に配置し、ロゴマークに合わせて音楽、演劇、舞踊などのさまざまな文化活動のジャンルを表現するアイコンを配置しています。

10 事業構成

- (1) 県実行委員会及び県主催事業
 - ① 開会式、閉会式
 - ② コア事業
 - ③ 地域文化発信事業
 - ④ 障害者交流事業
- (2) 市町実行委員会及び文化団体主催事業
 - ① 地域文化発信事業
 - ② 分野別交流事業
 - ③ 文化団体主催事業
- (3) その他事業
 - ① 協賛事業（文化庁承認事業）
 - ② 応援事業（長崎県実行委員会承認事業）

11 事業別計画

- (1) 県実行委員会及び県主催事業
 - ① 開会式、閉会式
 - ア 開会式
 - 開催日：令和7年9月14日（日）
 - 会場：アルカス SASEBO
 - 構成：i プロローグ
 - ii 式典
 - iii フェスティバル
 - iv エピローグ
 - イ 閉会式
 - 開催日：令和7年11月30日（日）
 - 会場：長崎ブリックホール
 - 構成：i オープニング
 - ii 式典
 - iii 次期開催県アトラクション
 - iv グランドフィナーレ

② コア事業

長崎県の文化芸術資源を活用して、観光など人口拡大や地域振興につながる広域的な事業を実施します。

ア 東アジアユースオーケストラ演奏会とワークショップ

開催日：10月16日（木）～19日（日）

会場：ハマユリックスホール（雲仙市）ほか

内容：長崎、韓国、中国の若手奏者によるユースオーケストラの演奏会やワークショップを実施

イ あま〜い★文化祭

開催日：9月中旬～11月（調整中）

会場：調整中

内容：日本遺産「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード」をテーマとしたコンテストや交通事業者と連携したスイーツトレイン等を開催

ウ 文化芸術による地域づくりフォーラム&文化体験ツアー

開催日：11月21日（金）～23日（日）

会場：福江文化会館（五島市）ほか

内容：文化芸術による地域づくりなどに取り組む文化芸術活動団体のフォーラムと文化体験ツアーを実施

エ みんな集まれ！「ダンス&ダンス」

開催日：9月21日（日）

会場：長崎市内

内容：伝統芸能の踊りやストリートダンスなどの若者向けのダンスなど多様なダンスイベントを開催

オ みなとでアート

開催日：9月14日（日）～11月30日（日）

会場：県内各地

内容：本県来訪者の玄関口となる港、空港、駅などにアート作品を展示

カ 「ナガサキの未来は君に託すよ」プロジェクト

開催日：9月中旬～11月（調整中）

会場：調整中

内容：本県出身の文化人に指導を受けた若者による演劇、音楽の成果発表や、県内高校生によるマーチングパレードの実施のほか、IT技術者と県内大学生の連携による文化祭の広報手段を構築

キ 読んでみんなね！長崎 ビブリオバトル

開催日：11月（調整中）

会場：佐世保市内

内 容：ビブリオバトルを開催するとともに、本県にまつわる書物に関するイベントを実施

ク キッズゲルニカ in ながさきピース文化祭 2025

開催日：9月14日（日）～11月30日（日）

会 場：県内各地

内 容：県内の子どもたちによる「平和」をテーマとした絵画の創作と県内各地で展示

ケ 「平和の文化」をテーマとしたシンポジウム

開催日：9月下旬（調整中）

会 場：長崎市内

内 容：本県ゆかりの作家等による平和をテーマとしたシンポジウムを開催

③ 地域文化発信事業

長崎県及び関係団体の事業と連携し、多くの県民の皆様や来県される方々が独特の文化など長崎の魅力に触れられる事業を実施します。

ア 長崎県美術館開館 20 周年記念展覧会（常設展・企画展）

開催日：調整中

会 場：長崎県美術館（長崎市）

内 容：長崎ゆかり・スペイン美術名品展のほか、多彩な企画展を開催

イ 三の丸尚蔵館所蔵品展

開催日：調整中

会 場：長崎県美術館（長崎市）

内 容：皇居三の丸尚蔵館が収蔵する、皇室ゆかりの優品を展示する特別展を開催

ウ 長崎歴史文化博物館開館 20 周年記念展覧会（企画展）

開催日：調整中

会 場：長崎歴史文化博物館（長崎市）

内 容：長崎ゆかりの歴史文化をテーマにした企画展を開催

エ 九州地区民俗芸能大会

開催日：調整中

会 場：調整中

内 容：九州・沖縄地区に伝承されている民俗芸能の発表会を開催

オ 長崎県伝統芸能大会（仮称）

開催日：調整中

会 場：調整中

内 容：長崎県内の民俗芸能（国指定等文化財）などを一堂に会して披露するイベントを開催

カ 水中遺跡シンポジウム（仮称）

開催日：調整中

会 場：調整中

内 容：「元寇」をテーマにした水中遺跡のシンポジウムを開催

キ ながさき“若い芽”のコンサート

開催日：令和7年10月26日（日）

会 場：浦上天主堂（長崎市）

内 容：声楽、ピアノ、管楽器、打楽器、弦楽器・ギターの4部門のオーディションに合格した15名程度が出演するクラシックコンサートを開催

④ 障害者交流事業

障害のある人の文化芸術活動の発表の場を創出することにより、障害に対する理解を深め、障害のある人の自立と社会参加の促進につながる事業を実施します。

ア 全国障害者作品展・講演会

開催日：令和7年9月7日（日）～9月16日（火）

会 場：長崎県美術館（長崎市）、佐世保市内（調整中）

内 容：全国の障害者が制作した優れた絵画、書道、工芸品等作品の展示や『障害者アートの可能性』（検討中）についての講演会を実施

イ 長崎県障害者芸術祭

開催日：令和7年11月16日（日）ほか（調整中）

会 場：シーハットおおむら（大村市）、南島原市内

内 容：障害のある人・ない人が共にオーケストラをバックにベートーヴェン『第九』などの合唱や、舞台芸術に取り組む施設・団体・特別支援学校などが一堂に会して、日頃の成果を発表するイベントを開催

ウ ながさきピースアート展

開催日：令和7年11月18日（火）～11月23日（日）

会 場：長崎県美術館（長崎市）

内 容：県内の障害者が制作した絵画、書道、工芸品等の公募作品を展示

エ ながさきワークショップ

開催日：9月の土日祝日のうちの2日

会 場：シーハットおおむら（大村市）

内 容：障害のあるなしに関わらず集い、障害者アーティストが制作した作品をTシャツにプリントするなど自由に創作するワークショップや高校生が障害者アーティストによる作品を使ったお土産製品を考案するワークショップを開催

オ わたぼうしコンサート

開催日：令和7年9月、10月の日曜（調整中）

会場：長崎市民会館（長崎市）

内容：障害のある人たちの「心の詩」入選作に曲をつけて披露するコンサートを開催

（２）市町実行委員会及び文化団体主催事業

① 地域文化発信事業

各地域の多彩な文化資源や観光資源を活用して、地域の魅力を発信する文化・芸術事業を実施します。

また、障害のある人もない人も一緒に参加し交流できる美術や音楽、演劇等の文化芸術事業を実施します。（※）

② 分野別交流事業

これまで全国規模の文化団体等とともに継続的に実施されてきた分野における発表、公演、交流を行う事業を実施します。

【長崎市】

地域文化発信事業

No.	事業名	開催日	会場	事業概要	障害者交流事業（※）
1	第73回長崎市民音楽祭	10月（調整中）	長崎ブリックホール	市内団体が集う音楽祭を開催し、そこで被爆80年にあたり平和のメッセージを込めた委嘱作品を合同演奏にて初演する。	
2	Nagasaki まちなか文化祭	11月（調整中）	ベルナード観光通り	「まちなか」を舞台に、音楽、舞踊・ダンス、演劇、美術のイベントを開催し、市民の芸術文化活動の発表や鑑賞の機会を提供するとともに、「まちなか」の賑わいを創出する。	
3	第48回長崎郷土芸能大会	9月（調整中）	長崎市民会館	長崎郷土芸能保存協議会に加盟する保存会団体の中から選考された5団体が、大会当日の午前中、浜町アーケードから中通りを通り、長崎市民会館までのパレードを行う。また、障害者団体の特別出演、加盟団体演目の体験コーナーや紹介パネルの展示を行う。	
4	長崎流鎗馬まつり	9月（調整中）	長崎市内	日本三大くんちである「長崎くんち」で奉納している「流鎗馬」を披露する。併せて、子供から大人まで参加できる流鎗馬体験会を行うことで、伝統文化の継承を図るもの。	
5	文化施設の周遊 ～ながさきピース文化祭2025×アニメ・ゲームコラボ～	9月中旬～11月末（調整中）	長崎市内	長崎市内の文化施設においてアニメやゲームとコラボした事業を実施し、県内外の交流を促進することで、より多くの方に分野別交流事業・地域文化発信事業に触れてもらう機会を創出する。	